

秋の陽だより

練馬区立光が丘秋の陽小学校

練馬区光が丘2-1-1
TEL 3976-6331
FAX 5383-3595

第74号



平成28年3月11日

平成27年度『学校経営・教育活動評価』の結果報告

校長 関川 健

今年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

教職員、児童、そして保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。このアンケート結果は学校評議員会でも報告し、学校評議員の皆様からもご意見をいただきました。これを平成28年度の教育活動に活かし、さらに充実させてまいります。

1 回収数

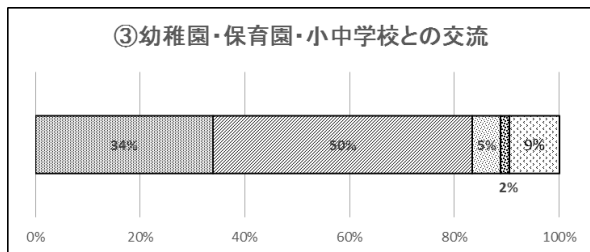
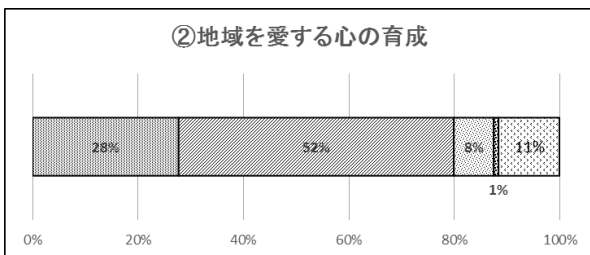
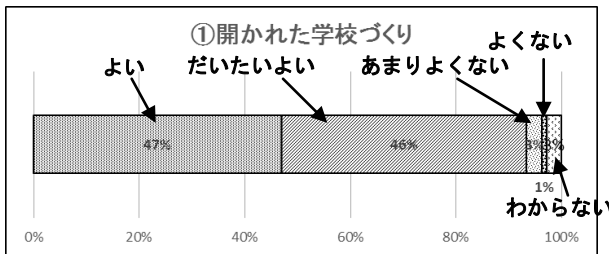
児童数 438名 保護者・学校評議員数 412名
教職員 18名

2 アンケート結果と考察

【保護者・学校評議員による評価】

いただいたご意見・提言の主なものを掲載しています。

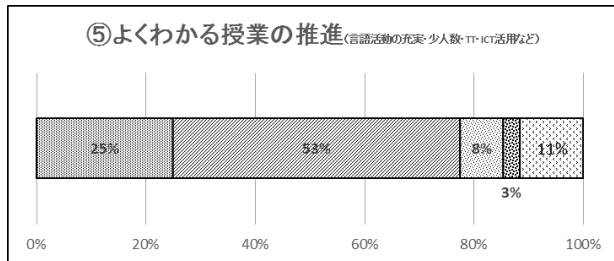
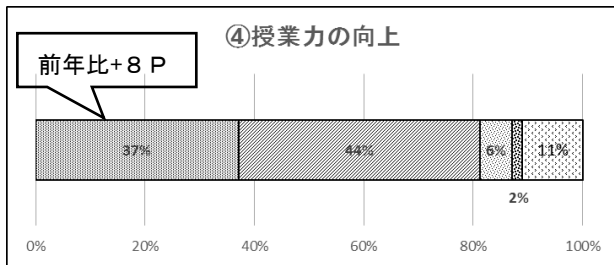
< I 「家庭・地域と連携して教育を推進する学校」について >



- ・ホームページの更新はスピーディーで、子供たちの学校内外での様子をタイムリーに知ることができた。
- ・学級だよりが増え、子供の言葉では伝えきれない学校の様子がよく伝わってくる。
- ・学校公開があり、子供の勉強姿が見られて素晴らしいと思う。
- ・学校公開では、毎回先生方の熱心さに大変感謝している。
- ・学級だよりが途中でなくなってしまったのは残念。
- ・色々な取組をしていると思うが、もっと報告をしてくれると分かりやすい。
- ・地域交流について、もっと機会をつくるとよい。老人ホームの訪問などを行って、交流を進めるとよい。
- ・学校、保護者、地域との関わり、児童の参加への働きかけなどは、学校側の積極的な面がよく見られた。
- ・青少年育成の行事をもっと伝えてもらいたい。
- ・葉かげの集いでの金魚つかみは、魚がかわいそうなので金魚すくいにしてほしい。
- ・小中一貫教育は、次年度に向けてさらなる充実が図れるよう、交流・連携をお願いします。
- ・内容はやっていると思うが、その後の推進・連携ができていないと感じる。

- ①学校公開、保護者会、個人面談、学校からの積極的な情報発信がさらに充実できるように、内容や実施方法を工夫して、4の評価の割合の増加を図ります。子供たちが、家で学校の様子を話したくなるように充実した教育活動を実践していきます。
- ②地域の方々大変よく協力していただき、充実した行事を催して下さっているの、今まで以上に児童に対して、地域の方々との交流の大切さを啓発していきます。
- ③練馬区小中一貫教育研究グループ指定2年目として、光が丘第四中学校との教員の連携を密にして授業改善に取り組み、児童・生徒の交流活動もさらに充実させていきます。

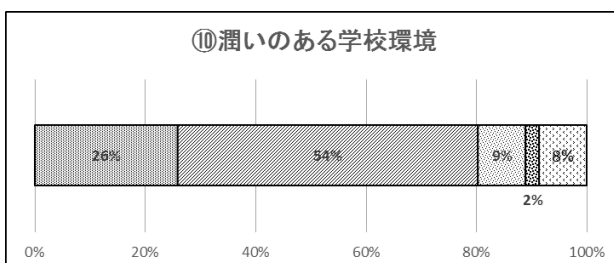
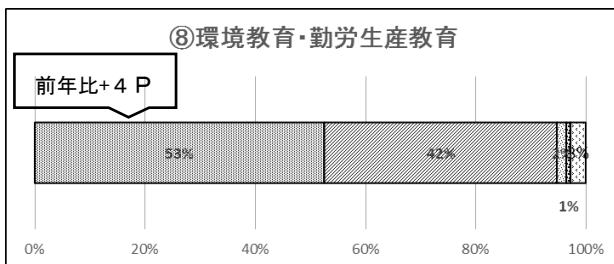
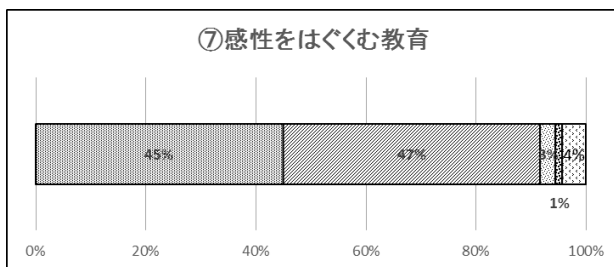
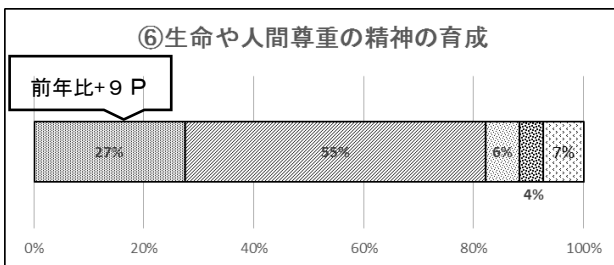
<Ⅱ「確かな学力の向上を図る学校」について>



- ・持ち帰ったプリントなどからも、授業に力を入れているのがわかる。
- ・サマースクールをやらせていただき、子供がとてもやる気を出させてもらった。
- ・同学年でクラスによって宿題の量、完成度に違いがありすぎると感じる。
- ・サマースクール、放課後学習教室の回数を増やした方がよい。
- ・算数習熟度別指導によって、つまりいた箇所を理解できたように思う。
- ・先生方の努力が感じられる。家庭学習の定着は、保護者も努力しなければならないと思う。
- ・授業内容の理解、習熟度を深化させてほしい。
- ・練馬区の小学校中でも学力が低く、不安を感じる。
- ・もっとパソコンやITを活用した授業をしてほしい。

- ④算数科、道徳を中心とした校内研究を通して、授業構想力、教材活用力、発問・学習規律などの指導力を向上させ、教員の授業力向上を図ります。教員同士が互いに切磋琢磨できるOJTをさらに活性化させます。
- ⑤放課後学習教室の対象を3・4年生に絞り、基礎・基本の定着を強化します。1年の算数でチームティーチング、2年以上の算数で習熟度別授業を行い、個に応じた指導やきめ細やかな指導を行います。

<Ⅲ「豊かな心をはぐくむ学校」について>



《⑥⑦について》

- ・家庭教育も大切だと思う。
- ・大切なことを教えてくださっている。
- ・挨拶はよくできているが、言葉遣いがよくない。
- ・言葉遣いの乱れ、乱暴な言葉が気になる。
- ・人権教育がされていない。
- ・感性をはぐくむことに積極的に取り組んでいて素晴らしいと思う。
- ・展覧会が素晴らしかった。
- ・ぜひ音楽会を行事に入れてほしい。
- ・全学年そろっての音楽発表会がなく、少しさみしい。

《⑧について》

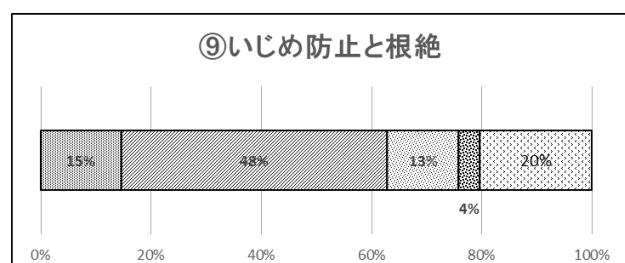
- ・やきいもの会をととても喜んでた。
- ・秋の陽の畑での体験をもっと増やしてほしい。

《⑨について》

- ・いじめ防止はもちろんだが、いじめの早期発見とケアの充実、周りの子供たちの対応策を指導してほしい。
- ・孤立する子供がいないよう、仲の良いまとまりのあるクラス作りを担当の先生にはお願いしたい。
- ・いじめのアンケートの取り方を予告をしないで行うなど、やり方を変えてほしい。

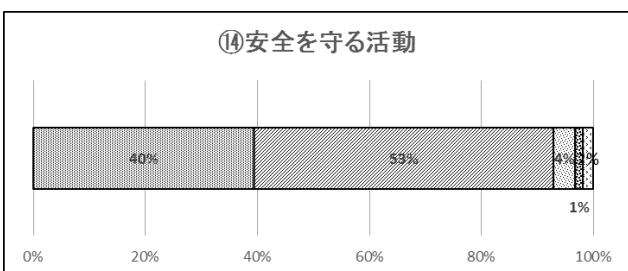
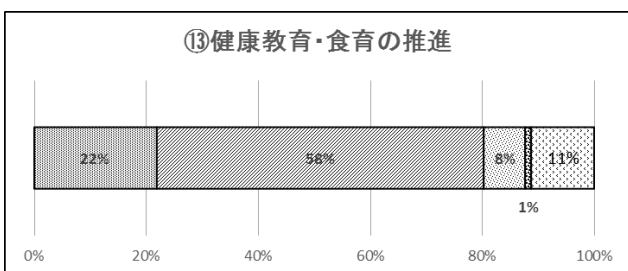
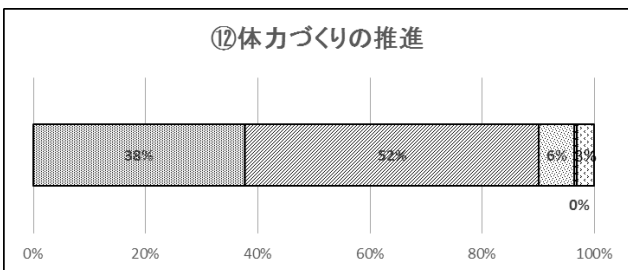
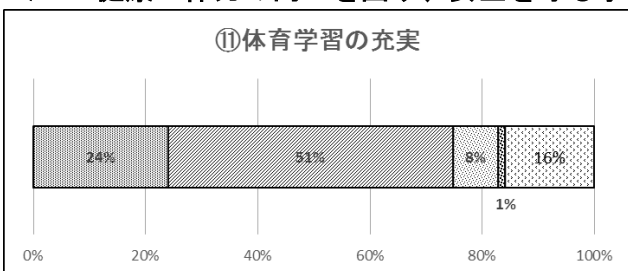
《⑩について》

- ・児童用のトイレ清掃が不十分だと思う。



- ⑥人権教育を柱とした道徳教育を推進し、いじめ防止や差別は絶対にしない心を育てます。今年度の成果として気持ちの良いあいさつができる子供が増えました。さらに進んであいさつができる子供を育てます。縦割り班活動の充実を図り、異年齢集団の中で互いを思いやる心や弱い者にやさしく接する心を育てます。
- ⑦朝読書、読書旬間、保護者ボランティアのご協力による定期的な読み聞かせ、お話し会などを充実させ、子供たちの読書活動を推進してまいります。月1回の音楽朝会の内容を工夫し、歌声を響かせ合ったり、互いの演奏を聴き合ったりする活動をさらに充実させます。従来の学芸会を学芸発表会とし、奇数学年が音楽発表を行う形式に変更します（3年周期で展覧会実施）。
- ⑧地の利を生かし、5年の秋の陽公園の田んぼでの米作り体験活動を充実させます。今までの秋の陽小農園はお借りできなくなりました。当面は、学校内での勤労生産教育を工夫してまいります。
- ⑨学校いじめ防止基本計画に基づき、全教育活動において人権教育を柱とした心の教育の充実を図り、自他の生命を尊重し、互いを思いやる心を育てます。万が一いじめが発生した際には、学校いじめ対応委員会を立ち上げ、被害者の立場に立ち、被害者を守りながら早期解決を図ります。
- ⑩ギャラリーに児童の図工などの作品を今まで以上に計画的に展示し、鑑賞し合う機会を増やします。清掃の仕方を全校で統一して指導します。全学年とも児童が協力して清掃活動に取り組めるように、全教職員が同じように指導します。児童用トイレの清掃頻度を増やします。

<Ⅳ「健康・体力の向上を図り、安全を守る学校」について>



《⑪⑫について》

- ・夏季水泳指導に参加して楽しかったので、子供が水泳を習いたいと言い出し、感謝している。
- ・その子に合った水泳や走力指導をして伸ばしてほしい。
- ・走力、泳力等をつけさせるための具体的な方法を知りたい。
- ・持久走大会など、発表する場があるとよい。
- ・体力づくりは個人の習い事に任されている部分が多いと感じている。
- ・マラソン大会を復活させてほしい。

《⑬⑭について》

- ・季節感のあるおいしい給食をいつもありがとうございます。
- ・朝ご飯の大切さについて改めて指導してほしい。
- ・勉強の土台として「食べる。寝る。外遊びする。」の健全な生活があることを保護者に広める必要がある。
- ・不審者に対し、オートロックにするなど、早急な対策がありよかった。
- ・避難訓練は、授業以外の時もしてほしい。
- ・SNSの使い方、危険性などを子供たちが学ぶ機会を増やしてほしい。
- ・最近不審者が多いので、子供たちに対策などを色々と教えてほしい。

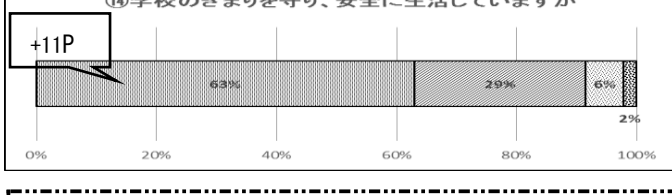
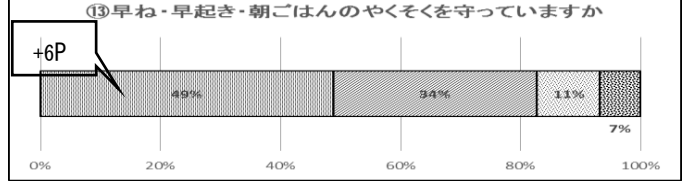
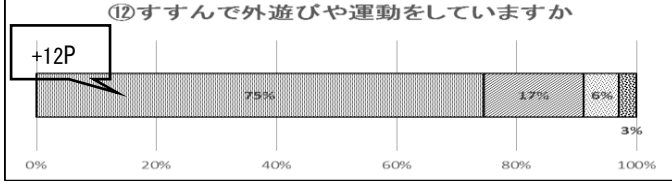
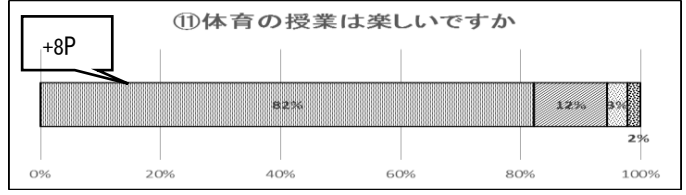
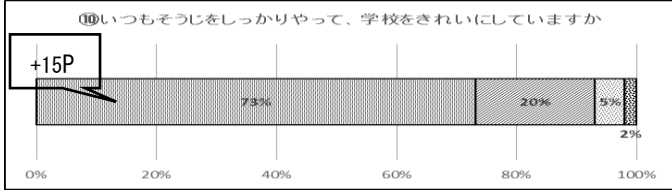
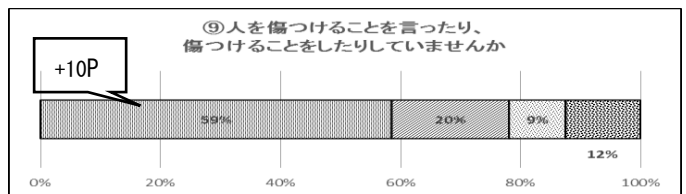
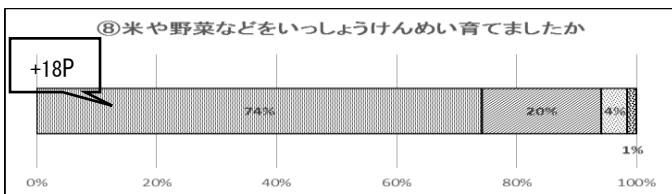
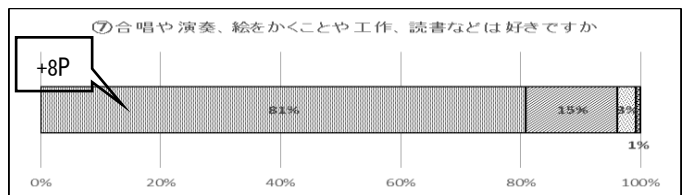
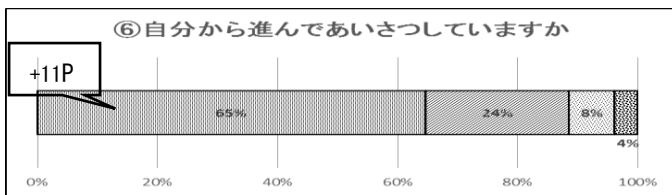
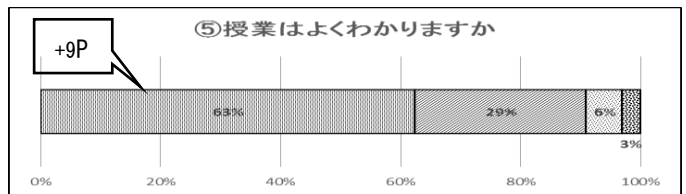
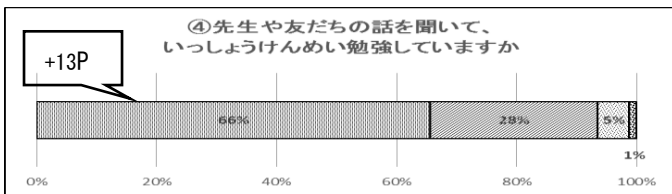
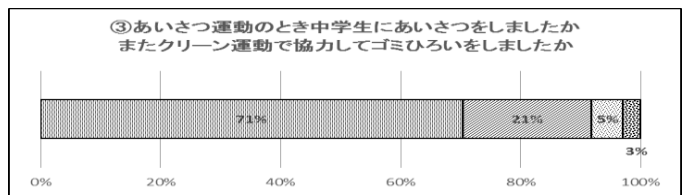
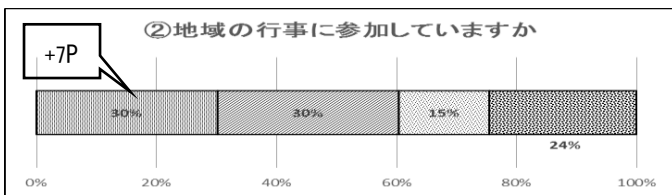
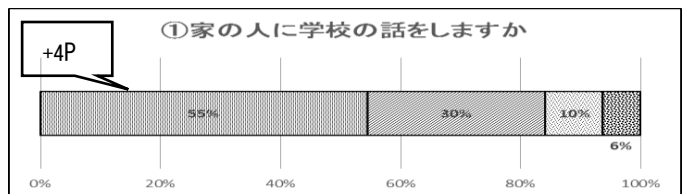
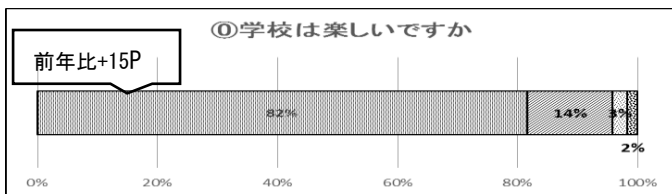
⑪教員の研修を積極的に行い、体育授業の改善を図ります。

- ・体育授業の充実に関する情報発信を行います。
- ⑫体育授業や体力づくりの取組を一層工夫し、児童に自分から進んで健康や体力づくりをしようとする意欲や実践力をさらに高めてまいります。持久走旬間を

2回に増やした成果は上がっています。体育授業の体づくり運動の学習でも持久力を高める運動を個々のめあてをしっかりと持たせて計画的に指導します。競い合いをねらうマラソン大会は行わない方針です。

- ⑬食育年間指導計画を改善し、栄養士との連携を深め、食育のさらなる充実を図ってまいります。「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進します。ご家庭のご協力をお願いいたします。
- ⑭警察や教育委員会との連携を密にし、不審者情報の詳細を入手できるように努力します。不審者対応のセーフティ教室、5年のほかに3・4年（保護者を含む）も対象にした情報モラル講習会を実施します。

【児童による評価】



③は、今年度新設した設問です。中学生との交流活動に主体的に関わった子供の割合が高いです。
①の「学校は楽しいですか」の「楽しい」が15P増えたことを初めとして、全ての設問で、最も肯定的に捉えている評価点4「よい」の割合が前年度比で大きく上回っています。今年度の教育活動の成果が、子供たちの前向きな評価に結び付いたと捉えることができ、大変嬉しく思います。もちろん、それぞれの項目での否定的な評価の割合を減らすことも目指して、今後も教育活動を推進してまいります。特に、⑨の「人を傷つける言動をしてしまっている」という21%の子供の割合をゼロにすることは重要な課題です。

